

23 カリキュラム専門教育科目 (2017年度以降入学生)

1. カリキュラムポリシーとディプロマポリシー

環境情報学部

<カリキュラム・ポリシー>

環境情報学部のカリキュラムは、メディア情報分野と自然環境分野から成り立っています。学生は1年次から2年次にかけて共通教育科目を履修します。それと並行して、1年次に2つの分野に関する概論を体験的に学修します。2年次からは各分野に分かれて、専門的な学修を開始します。

メディア情報分野

高度情報化社会の進展で、各種メディアは社会全体へ影響を及ぼすようになりました。専門分野の知識・能力を習得するため、大きく以下の分野を設定しています。

- 全ての技術の基礎となる情報通信技術の分野
- 音響、映像、照明、電子メディアの技術の分野
- 何をどのように伝えるのかを考える上で他者理解、自己理解を探究する文化論

2年次より始まる演習は、2年次の基礎演習 a、b、3年次の専門演習 a、b、4年次の専門演習 c、d、と進み、最終学年では、卒業制作または卒業論文を課します。

自然環境分野

環境問題について、多角的に幅広い科目で学修することができる構成となっています。地域の環境を科学的な手法で把握することを基礎に、人間を取り巻く環境について考察します。大きく以下の科目分野からなります。

- 環境に関する基礎的な知識を習得する基礎科目の分野
- 環境化学分析や測定などの実験科目の分野
- 土壌、水、生物といったより対象に近づいた分野

2年次より始まる演習は、2年次の基礎演習 a、b、3年次の専門演習 a、b、4年次の専門演習 c、d、と進み、最終学年では、卒業制作または卒業論文を課します。

<ディプロマ・ポリシー>

環境情報学部では、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に、「学士（環境情報学）」の学位を授与します。

- 専門技術者に求められる倫理観を身につけている
- 地域の持続的発展のために貢献できる
- 多様な社会の価値観を理解し、自分の考えを的確に表現し、伝えることができる
- 環境に関する専門知識・技術を習得し、環境の個々の問題に取り組むことができる
- メディアに関する専門知識・技術を習得して、独自の視点で情報発信できる